

レーザー干渉計LIGOを用いた 重力波観測への多大なる貢献

解説

富永 望 氏

(理工学部物理学科 教授)

日時

10/25 (水)

12:20~12:55

場所

サイエンス・ラーニングコモンズ
(岡本キャンパス北校舎7号館1階)

一般の方も
参加可能

サイエンス・ラーニングコモンズ (SLC) では定期的にランチョンセミナーを開催して、甲南大学の学生や教職員みなさんに、最新の科学研究をわかりやすく解説します。今回は、物理学科の富永先生による今年のノーベル物理学賞の解説です。今年のノーベル物理学賞は、アインシュタインの提唱した一般相対論によって導かれる重力波を2015年に検出したLIGOの一員であるRainer Weiss、Barry C. Barish、Kip S. Thorneの3氏に贈られます。受賞の背景や彼らの発見によって開かれた新しい分野の研究、さらには2017年10月16日に記者発表のあった最新の成果にも触れながら、受賞内容を紹介しします。文系学部の学生や教職員の皆さまも、この機会にぜひSLCにお越しください。

※ 当日はお弁当の販売もあります。ランチをしながら最新の科学の話題をお楽しみください。

世話人

日下部岳広 (理工学部生物学科)

問い合わせ先

理工学部・知能情報学部事務室 (内線6401)

次回

11月1日 (水) 12:20~12:55

第6回SLCランチョンセミナー 甲南の教員が解説するNobel Prize 2017 ② 医学・生理学賞
解説: 向 正則 氏 (理工学部生物学科教授)